

令和3年度に入札公告の掲載が予定されている契約について

令和3年5月31日
独立行政法人農林漁業信用基金

契約の名称	入札公告掲載時期	契約相手選定方式	予定納期、履行期限又は期間	備考
① 林業業務システムに係るアプリケーション改修及びデータ移設、業務用サーバ等更改、運用及び機器等保守業務	令和3年4月	一般競争入札 (総合評価落札方式)	【アプリケーション改修、データ移設、サーバ機器等の更新及び設定】 予定納期: 令和4年2月 【運用及び機器等保守業務】 履行期間: 令和4年3月1日～令和9年2月28日(5年間)	
② 「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の再構築に係る調達支援業務	令和3年6月頃	一般競争入札 (総合評価落札方式)	令和3年9月	
③ 「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」に係る災害特例保険料率の導入に伴うアプリケーション改修業務	令和3年6月頃	一般競争入札 (総合評価落札方式)	令和3年9月	
④ 令和4年版カレンダーの企画及び印刷に関する事業	令和3年7月頃	一般競争入札 (総合評価落札方式)	令和3年11月	
⑤ 農業保証保険制度の普及推進に係る推進資料の調達業務	令和3年9月頃	一般競争入札 (最低価格落札方式)	令和3年12月	
⑥ 「農業保証保険システム」の再構築に係る設計開発等業務	令和3年10月頃	一般競争入札 (総合評価落札方式)	令和5年8月	
⑦ RPAツール等を使用した業務の自動化支援(新規開発)業務	令和3年10月頃	一般競争入札 (最低価格落札方式)	令和4年3月	
⑧ 令和4年度版広報誌の制作及び梱包・発送等業務	令和3年11月頃	一般競争入札 (最低価格落札方式)	令和4年5月20日～ 令和5年1月20日	
⑨ 自動車運行管理業務	令和3年11月頃	一般競争入札 (最低価格落札方式)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	
⑩ 「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の再構築に係る設計・開発及び移行並びに運用保守業務	令和3年12月頃	一般競争入札 (総合評価落札方式)	【「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の再構築に係る設計・開発及び移行】 予定納期: 令和5年4月 【運用保守業務】 履行期間: 令和5年4月～令和10年3月(5年間)	
⑪ 法律顧問業務	令和3年12月頃	企画競争	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	
⑫ 翌年度コピー用紙の一括購入	令和4年1月頃	一般競争入札 (最低価格落札方式)	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	

(注)各契約の概要は、後添のとおり。
・本情報は、予定であり、今後追加、変更、取り止め等を行うことがあります。

① 林業業務システムに係るアプリケーション改修及びデータ移設、業務用サーバ等更改、運用及び機器等保守業務

(概要)

(1) システム概要

林業業務システムのアプリケーションは、「Visual Basic.NET」と「MS Access」の言語で開発したオープン系の Windows サーバシステムである。

システムは「基幹系」と「情報系」で構成されており、「基幹系」は債務保証の引受から代位弁済、代位弁済金の回収のデータを処理している。また、「情報系」は債務保証案件の信用格付を判定する処理をしている。

(2) 主旨及び調達内容

林業業務システムの安定的な稼働を目的として、以下の作業を行う。なお、今回の調達では、「情報系」の改修作業はない。

- ① サーバ等の耐用年数（5年）が経過しているため、機器の更新を行う。
- ② ①に伴い現在稼働中のアプリケーション、データベースを新規サーバに移行する。
- ③ ②に併せて、セキュリティ強化の観点から Internet Explorer 以外の HTML5 ブラウザに対応するようアプリケーションの改修などを行う。
- ④ 令和4年3月から5年間、アプリケーション及び更新した機器等の運用保守業務を行う。

② 「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の再構築に係る調達支援業務

(概要)

(1) システム概要

「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」のアプリケーションは、「VB.NET」の言語でスクラッチ開発したオープン系の Windows サーバシステムである。

「漁業保証保険システム」は、保証保険の引受から保険金支払、支払保険金の回収のデータを処理している。また、「貸付金管理システム」は、貸付から償還の管理、利息計算のデータを処理している。

(2) 主旨及び調達内容

「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」は、古いプログラム言語で構築されており、今後の安定稼働に懸念があることから、業務のデジタル化による効率化を図ることを含め、昨今の IT 技術を踏まえた再構築を検討している。

今回、再構築に必要な要件等の洗出しがユーザー目線のみでは全体最適化の観

点からは漏れがある可能性もあるので、開発業者に対し全体最適となる開発のための要件定義が示せるよう、専門的知見を有する事業者から再構築に係る調達にあたっての支援を受ける。

③ 「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」に係る災害特例保険料率の導入に伴うアプリケーション改修業務

(概要)

(1) システム概要

「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の概要については、上記②のとおり。

(2) 主旨及び調達内容

今回、災害特例保険料率が導入されたことに伴い、災害特例案件について保険料計算等を行うことができるようアプリケーションの改修を行う。

④ 令和4年度版カレンダーの企画及び印刷に関する事業

(概要)

写真入りカレンダーの企画提案を受け、落札業者がカレンダーの印刷及び発送を行う。

⑤ 農業保証保険制度の普及推進に係る推進資材の調達業務

(概要)

農業信用基金協会が農業信用保証保険制度の普及推進及び利用促進の取組を行うにあたり活用する推進資材を調達する。

⑥ 「農業保証保険システム」の再構築に係る設計開発等業務

(概要)

(1) システム概要

「農業保証保険システム」は、保険料の計算処理を行い、保険料等の請求等を行っている。

これまで、平成23年3月にオフィスサーバで運用していたシステムをクライアントサーバのオープン化システムへ移行し、OS やミドルウェア製品のサポート切れ等に伴うバージョンアップやサーバ機器等の老朽化に伴う機器更新等を主に行ってきた。

(2) 主旨及び調達内容

「農業保証保険システム」について、制度の改正等に伴うアプリケーションの改修を不要とするなどにより保守性を向上させ、また、容易なデータ修正を可能とするなど、システムの全体最適化を目的として、再構築を行う。

(参考)

農業保証保険システムの再構築に係る調達支援業務

(https://www.jaffic.go.jp/procurement/tendernotice/backnumber/backnumber_r02/nyusatsu030217.html)

⑦ RPA ツール等を使用した業務の自動化支援を含む開発業務

(概要)

信用基金の定型的な業務のうち、機械的に処理することが適切と考えられる作業について、RPA ツールを導入することにより、省力化を図ることを目的とする。

RPA ツールが処理する対象の業務(作業)については、年内に別途実施予定の PoC (実証実験) の効果・検証結果を踏まえて選定した上で、年度内に開発完了し、順次、可能なものから本格的に業務に反映させる予定である。

⑧ 令和4年度版広報誌の制作及び梱包・発送等業務

(概要)

農林漁業信用基金の広報誌「基金 now」について、令和4年度の制作配布を行う。

⑨ 自動車運行管理業務

(概要)

信用基金が使用する自動車(1台)の運転等を行う。

⑩ 「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の再構築に係る設計・開発及び移行並びに運用保守業務

(概要)

(1) システム概要

「漁業保証保険システム」と「貸付金管理システム」の概要については、上記②のとおり。

(2) 調達内容

今回、上記②の再構築に係る調達の支援を受けた結果作成した仕様書や要件定義書に基づき、令和5年4月の本稼働に向けシステムの再構築を行う。また、再構築したシステムの運用保守業務を5年間行う。

⑪ 法律顧問契約

(概要)

(1) 信用基金が行う業務に関する以下の相談事項等について、指導及び助言(電話、電子メール等を含む。)を行う。

① 農業信用保険業務、林業信用保証業務及び漁業信用保険業務並びに農業保険関係業務及び漁業災害補償関係業務に関する業務遂行上の諸問題についての法律相談

② 訴訟対応に当たっての法律相談

③ その他、信用基金の業務に関する依頼事項

(2) 信用基金に係る公益通報窓口業務を行う。

⑫ 翌年度コピー用紙の一括購入

(概要)

コピー用紙(A4版及びA3版)の一括購入を行う。(単価契約)